

新規試用医薬品(平成23年4月薬事検討委員会)

エクア錠50mg
 タルセバ錠25mg、100mg
 ミカムロ配合錠AP
 メタライト250mgカプセル
 サブパック血液ろ過用補充液 - Bi
 フォルテオ皮下注キット600µg

薬品名	処 エクア錠50mg equa	メーカー	ノバルティス
		申請科	内科
規格	50mg/錠	一般名	ビルダグリプチン
効能・効果	2型糖尿病 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る。 食事療法、運動療法のみ 食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用		
用法・用量	通常、成人には、ビルダグリプチンとして50mgを1日2回朝、夕に経口投与する。なお、患者の状態に応じて50mgを1日1回朝に投与することができる。		
使用目的及び理由	先行発売の選択的DPP-4阻害剤(シタグリプチン)よりも効果が高いことが報告されており、シタグリプチンで効果不十分の場合に有用と考えられる。		
その他	院外処方限定での使用		

薬品名	劇 処 タルセバ錠25mg、100mg tarceva	メーカー	中外製薬
		申請科	呼吸器・血管外科
規格	25mg/錠、100mg/錠	一般名	エルロチニブ塩酸塩
効能・効果	切除不能な再発・進行性で、がん化学療法施行後に増悪した非小細胞肺癌		
用法・用量	通常、成人にはエルロチニブとして150mgを食事の1時間以上前又は食後2時間以降に1日1回経口投与する。なお、患者の症状により適宜減量する。		
使用目的及び理由	皮膚症状等の副作用により、用量を減量する際に使用する。		
その他	院外処方限定での使用		

薬品名	劇 処 ミカムロ配合錠AP micamlo	メーカー	アステラス
		申請科	内科
規格	テルミサルタン/アムロジピン(40mg/5mg)	一般名	テルミサルタン/アムロジピン
効能・効果	高血圧症		
用法・用量	成人には1日1回1錠(テルミサルタン/アムロジピンとして40mg/5mg)を経口投与する。本剤は高血圧治療の第一選択薬として用いない。		
使用目的及び理由	長時間作用型のARB/Ca拮抗薬の配合剤であり、高血圧患者の24時間にわたる、より安定した血圧コントロールが期待される。また、服薬アドヒアランスの向上も期待できる。		
その他	院外処方限定での使用		

薬品名	劇 処 メタライト250カプセル metalite	メーカー	ツムラ
		申請科	内 科
規格	250mg/カプセル	一般名	トリエンチン塩酸塩
効能・効果	ウィルソン病(D-ペニシラミンに不耐性である場合)		
用法・用量	通常、成人1日6カプセル(塩酸トリエンチンとして1,500mg)を食前空腹時に2～4回に分割経口投与する。なお、患者の年齢、症状及び本剤に対する反応等に応じて、1日量4～10カプセル(塩酸トリエンチンとして1,000～2,500mg)の範囲で増減する。		
使用目的及び理由	ウィルソン病の方に使用したいため。		
その他			

薬品名	処 サブパック血液ろ過用補充液-Bi subpack-bi	メーカー	ニプロファーマ
		申請科	内 科
規格	2,020mL/キット	一般名	ろ過型人工腎臓用補液
効能・効果	透析型人工腎臓では治療の持続又は管理の困難な慢性腎不全例に対するろ過型又はろ過透析型人工腎臓使用時並びに治療時間の短縮を目的とするろ過透析型人工腎臓使用時の補充液として用いる。		
用法・用量	用時、隔壁部を開通し、A液及びB液をよく混合し、ろ過型又はろ過透析型人工腎臓使用時の体液量を保持する目的で点滴注入する。投与はろ過液量と体液量とのバランスを保つように十分注意して行う。通常成人1分間あたり30～80mLの投与速度で症状、血液生化学異常、電解質・酸塩基平衡異常、体液バランス異常等が是正されるまで行う。通常1回のろ過型人工腎臓治療では15～20Lを4～7時間で投与する。また、透析型人工腎臓と併用する場合には、5～10Lを3～5時間で投与する。なお、投与量は症状、血液生化学値、体液異常、年齢、体重などにより適宜増減する。		
使用目的及び理由	血液ろ過用補充液として、サブラッドBSに替えて使用		
その他			

薬品名	処 フォルテオ皮下注キット600µg forteo	メーカー	日本イーライリリー
		申請科	整形外科
規格	600µg/キット	一般名	テリパラチド(遺伝子組換え)
効能・効果	骨折の危険性の高い骨粗鬆症		
用法・用量	通常、成人には1日1回テリパラチド(遺伝子組換え)として20µgを皮下に注射する。なお、本剤の投与は18ヵ月間までとすること。		
使用目的及び理由	骨粗鬆症治療において、現在最もエビデンスのある薬剤としてビスホスホネート系薬剤(アレンドロン酸Na水和物、等)がある。これらの薬剤は骨の代謝回転を遅らせることで骨吸収を抑制するが、顎骨壊死や不良な骨質形成に伴う大腿骨骨折といった合併症がある。これに対して、本剤は唯一、骨形成に作用する薬剤である。		
その他			

規制区分：毒：毒薬、劇：劇薬、麻：麻薬、向：向精神薬、処：処方せん医薬品

習：習慣性医薬品、生：生物由来製品、特：特定生物由来製品、放：放射性医薬品